



8.25 夏季研修会を行いました

地域の小中学校の先生方と一緒にあいち小児保健医療総合センターの作業療法士田辺祐子先生より「感覚と行動について」という題目で御講義を受け、その後グループワークを行いました。

【講義より】

- ・感覚には 五感 + 二感 がある。
- ・触覚、前庭覚、固有受容覚は、ボディイメージの発達に重要な感覚である。
- ・感覚処理には4つある。



【グループワーク】

事例対象の子どものビデオを見て、

行動 → 行動の背景 → 支援

を考えました。



今後に生かせる有意義な研修会になりました。

いろいろな活動がありますね。

感覚統合を育むために、日常生活や遊びの中でも取り組めることを紹介します。

【揺れや回転】 	【力が入る感じ】 	【触って楽しむ】 	【見て楽しむ】 	【手足を一緒に動かす】
【着替え】 	【布団や洗濯物をたたむ】 	【物を運ぶ】 	【調理活動】 ・包丁で切る ・卵を割る ・調理器具を使うなど。 	【雑巾しぼり】

◎参考、引用文献 「イラスト版発達障害児の楽しくできる感覚統合」 太田篤志著 合同出版社

※感覚統合については、令和 3 年度の「自立活動だより No.3」にも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

教材教具展

夏季研修会（8月25日）に、本校相談支援部所有や個人で製作した教材教具を紹介する教材教具展を行いました。見学された地域の小中学校の先生方からは「実物がとても参考になりました。」「受け持っている児童に使えるような教具があったので、作ってみようと思います。」「教具を実物で見られる機会がほとんどないため、実際に手に取って教具の体験をできたことが勉強になりました。」といった感想をいただきました。

展示された教材教具は、本校ホームページに掲載してありますのでご覧ください。



本校相談支援部が所有している、自立活動の関連書籍の紹介コーナーでは「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の自立活動の6区分に分けて書籍の紹介をしました。見学された先生方からは「本の紹介コーナーが参考になった。とてもありがたかった。自分でも購入したいと思う。」「各分野で整理しており、豊富な書籍が展示しており、参考になる本が多かった。」といったご意見をいただきました。



8.25 夏季研修会の講義内容である「感覚統合」についての関連書籍も紹介しました。

